

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-5-1 道路網の整備と維持管理

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 道路維持課長 山崎 泰助 電話番号 0852-22-5187

事務事業の名称	道路愛護意識等啓発事務	
目的	(1) 対象	道路利用者
	(2) 意図	道路利用のマナーや道路への愛着心の向上
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ハートフルロードしまね 道路利用者が道路を安全かつ快適に利用するため、道路清掃などボランティア活動に意欲を持つ団体を認定し、協働していく。 ・道路愛護団体等表彰事務 道路愛護思想の普及を図るため、道路愛護に貢献のあった個人及び団体を表彰する。 	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	道路愛護団体認定数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			式・定義	認定実績値（各年度末時点での認定団体数、目標：35の純増）	目標値	実績値	達成率		
				615.00	618.00	632.00	647.00		%
					98.10	98.80	100.40		%
指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位		
	目標値		0.00	0.00					
式・定義	実績値	0.00	0.00	0.00					
	達成率		0.00	0.00			%		

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	30,741	36,703
うち一般財源(千円)	0	0

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基じた現状）

登録団体認定数は着実に増加しており、県民のボランティア意欲や道路愛護意識の高さを表している。一方で、増加数や増加比率は低下しつつあり、以前ほどの伸びは見られない。

H21年度：545団体（対前年度 +99団体） H26年度：647団体（対前年度 +15団体）
 H22年度：592団体（対前年度 +47団体）
 H23年度：615団体（対前年度 +23団体）
 H24年度：618団体（対前年度 +3団体）
 H25年度：632団体（対前年度 +14団体）

6. 成果があったこと（改善されたこと）

登録団体認定数が目標値に達しただけでなく、登録人数についても引き続き増加しており、取り組みの成果が表れている。

（登録人数）
 H23年度：17,138人
 H24年度：17,290人
 H25年度：17,835人
 H26年度：18,542人

また、1団体あたりの登録人数が増加していることから、各認定団体においても新規参加者を募集するなどし、活動を拡大しようとしていることが窺える。

なお、登録団体の報告に基づく実績は次のとおり。
 （活動実績） 美化延長 草刈面積
 H24年度：828.7km 992.312㎡
 H25年度：835.2km 992.499㎡
 H26年度：828.2km 986.697㎡

各団体のボランティア意識に支えられ、安定した成果が上がっている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
- ・登録団体認定数の増加が徐々に頭打ちとなりつつある。
 - ・美化や草刈りに係る活動について、安定して実績はあがっているものの、団体数や人数の増加ほどには伸びていない。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- ・当該制度が広く県内に定着してきたことの流れともいえるが、一方で、同様の活動をしていながら登録されていない団体も存在する。
 - ・構成員の高齢化等もあり、思うように活動できない団体もある。
- ③原因を解消するための「課題」
- 制度を知らずに活動している同種団体への周知。
 新規登録及び活動の拡大や継続へ向けたモチベーションの確保。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

様々な媒体を通じ広く県民に対し制度の周知を図るとともに、市町村やNPO等との接触の機会に情報交換し、新規登録を促進する。優良団体等への表彰についてもPRし、新規登録や活動継続の一助とする。

限られた予算の範囲ではあるが、加入者が活動しやすい支援を行うため、交付金のあり方について見直す必要がある。登録団体名入りの表示板を活動地域の沿道に設置している（希望する団体のみ、約300団体分を設置済）。今後も希望する団体についてはすべて設置していく。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）